

令和4年度

# 市政に関する所信表明

富良野市長 北 猛 俊



# 市政に関する所信表明

本日ここに、令和4年第2回富良野市議会定例会の開会にあたり、今後の市政運営に対する私の所信の一端を申し述べさせていただきます。

私は、4月に執行されました富良野市長選挙におきまして、市民の皆様のおかげで、ご支援を賜り、当選の栄誉に浴し、引き続き2期目の富良野市政を担うことになりました。市民の皆様のご厚情に、心よりお礼申し上げますとともに、これからの4年間も日々新たな気持ちで市政運営に全力で取り組んでまいります。

新たな時代に対応できるまちづくりを進めるにあたり、市民の皆様が富良野市の将来に希望を感じ、これからも安心して暮らしていただけるよう、「全ての市民が健康で幸せを感じる健幸都市」、「未来が見える共創のまちづくり」を掲げ、「健幸」を実践・継続できる、持続可能な都市経営と成長をめざして「田園都市富良野」から「未来を創る」ために挑戦してまいります。

「まち」は、歩きやすい・歩きたくなるような街並みや、それぞれの人にとって「楽しそう・参加してみたい」と思える居心地のよい場所があるという環境を整えることで、思わず表に出て人と交流して学び、健康寿命が延びる「まち」でなくてはなりません。

人とのコミュニティが醸成され、人間関係がうまくいくこと、仕事に満足できること、他人を愛すること、他人から認められることなど、人生の意味を見だし、それを幸せだと感じられることが重要です。

問題や困難に直面している人たちを孤立させず、互いに協力し、喜び合い、「健幸」を意識しながら、食と観光、文化、スポーツ、体験、医療・福祉などの地域資源(素材)を組合せた経済活動の構築を図ってまいります。

地域の核となる全ての家庭が助け合い、主体的に健康維持・社会参加することで、地域の活性化を進めてまいります。

そのために、自助・共助・公助のバランスが良い社会に転換し、「誰一人取り残さない」という思いを胸に、市民との対話を重ね「共創のまちづくり」に邁進してまいります。

ここで、喫緊の課題の取り組みについて、私の考えを述べたいと存じます。

一つ目は、新型コロナウイルス感染症対策とアフターコロナに向けた取り組みであります。

現在も新型コロナウイルス感染症は、収束に至っておりません。

今年初めからの第6波が過去最大の感染拡大となる中で、最前線の医療従事者の皆様をはじめ、対応に奮闘されている全ての皆様、長期間にわたって多大なご理解とご協力をいただいている市民の皆様、並びに市内事業者の皆様に心から感謝を申し上げます。

感染症対策につきましては、市民の生命と健康を守るため、医師会や地域センター病院との連携を強化し、現在進めているワクチン追加接種をさらに迅速かつ安全に実施できるよう取り組むなど、引き続き新型コロナウイルス感染症対策に力を尽くすとともに、コロナ禍による影響が長期化していることから、地域経済を支える支援を継続してまいります。

また、アフターコロナに向け、中断しておりました観光をマネジメントする組織であるDMO（DMC）設置に向けた検討を再開するとともに、国際的に認められる、「住んでよし、訪れてよし」の観光地域づくりをめざすため、観光庁の推奨する「持続可能な観光地域づくり」に取り組んでまいります。

二つ目は、新しく生まれる富良野市複合庁舎についてであります。

現庁舎の老朽化に伴い平成30年から市民参加のもと協議を進めてまいりました複合庁舎は、9月下旬供用開始予定となっております。

新しい市庁舎は、防災拠点機能の強化や機能性・効率性・経済性を重視し、人や環境にやさしく、市民が利用しやすい庁舎とするとともに、文化会館との複合化により富良野市複合庁舎として新たなコミュニティを創造する場としてスタートいたします。

この新たな場で市民と市民をつなぎ、市民の皆様とともにまちづくりを、夢を、次の世代へつなぐ持続可能な取り組みを進めるよう、市民の意見を取り入れた施設の有効活用を図ってまいります。

2期目の市政運営にあたって、「美しい」のその先へ。WA！がまち、ふらの」をスローガンに掲げた第6次富良野市総合計画の4つのコンセプトについて、私の基本的な考えを述べさせていただきます。

### **(1) 輝く。つながり合う。ひとのWA！**

核家族化や地域とのつながりが減少することで「孤育て」の傾向が高まっています。安心して妊娠・出産・子育てできる環境づくり、乳幼児期における健やかな育ち、自立や社会参加に向けた適切な支援の提供等、切れ目のない支援・相談体制づくりを進めてまいります。また、子育て世代の負担を軽減するため、これまでの事業を継続するとともに「子ども医療費助成」の拡充を図ってまいります。

あわせて、安心して出産・育児ができる環境づくりを進めるため、圏域の周産期医療・小児科医療体制の確保を図るとともに、妊産婦及び乳幼児に対する相談や保健指導の充実を進めてまいります。

地域医療では、富良野医師会や圏域自治体との連携のもと、救急医療体制の維持や地域センター病院の医師確保に支援を行い、地域医療体制の充実に向けた取り組みを推進してまいります。

また、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、引き続き、地域包括ケアシステムの充実に向けて取り組むとともに介護人材確保に向けた対策を検討してまいります。

人生 100 年を見据えたとき、市民一人ひとりが生き生きと活躍できる地域社会を実現していくため、家庭・地域の教育力や暮らしの質を向上させる生涯学習の充実に図ってまいります。

地域が持つ歴史や習俗、民族芸能、音楽や演劇など文化芸術は、心にゆとりや潤いをもたらすとともに、創造性を育て、多様性を受け入れることで、心豊かな生活を送ることにつながります。

新しい文化会館・文化ホールを拠点に文化振興を図るとともに、富良野市文化芸術振興条例の制定により、文化芸術振興をさらに推進してまいります。また、スポーツセンターの耐震改修をはじめ、スポーツインフラの整備を図り、スポーツ振興を進めることで、心と体の「健幸」づくりを進めてまいります。

移住・定住の促進では、情報発信を継続するとともに、関係人口創出、サテライトオフィスなど企業誘致につなげるワーケーションの取り組み

を推進してまいります。

住んでいる人が「誇り」を持ち、訪れる人が「憧れ」をいただくまちづくりを進めていくため、シビックプライドを醸成し、富良野市を発信していくシティプロモーションを推進してまいります。

## **(2) 創る。まわす。しごとのWA！**

基幹産業である農業においては、担い手育成に引き続き取り組むとともに、生産性向上に向け、スマート農業の推進、国営農地再編事業「富良野南富地区」の実施体制を整備してまいります。

ワイン事業では、経営の改善と原料用ぶどう確保に向けた支援を継続するとともに、ふらのワイン50周年記念事業を実施してまいります。

水、食品、環境など地域資源を活用した企業誘致に努めるとともに、国・北海道と連携し、人材確保に向けた企業支援を検討してまいります。

### **(3) 想う。みがき合う。まちのWA！**

防災対策では、町内会・連合会などと連携し、地域防災力の向上と災害に強いまちづくりを推進してまいります。また、近年の激甚化する水害に備え、国や北海道と連携し、災害に強い河川の維持管理に努めてまいります。

道路、橋梁、公園、上下水道など、地域インフラの適切な維持管理を進め、計画に基づいた修繕、整備を行ってまいります。また、冬期間の安全な道路確保のため、GPSとIoT活用を推進し、除雪体制の効率化を進めてまいります。

物流・観光・救急・防災・生活の向上に不可欠な高規格道路旭川十勝道路は、全線 120 kmの早期完成に向けて引き続き関係機関へ要請してまいります。

まちづくりにあたっては、人口減少社会にあっても、持続可能な都市の形成を図るとともに、富良野らしい都市計画、景観形成と自然環境保全に努めてまいります。

住環境の向上にあたっては、住宅リフォーム、多世代同居住宅への取得に対する支援に加え子育て世帯に配慮した支援を検討することと合わせ、まちなか居住の促進を図ってまいります。

地域公共交通は、市民生活、経済、観光に欠かすことのできない社会インフラであることから、利便性を確保しながら持続可能な交通体系を構築するため、地域公共交通計画の策定を推進してまいります。

鉄路見直し問題につきましては、関係市町村や北海道などと連携し、富良野線及び根室線富良野～滝川間の維持存続に向け全力で取り組んでまいります。また、根室線富良野～新得間につきましては、市民生活及び上川と十勝を結ぶ交通を守るため、鉄路に代わる公共交通の確保に全力を尽くしてまいります。

スマートシティの推進は、市民の幸福感や暮らしやすさを高めることをめざし、「書かない窓口」や「デジタル健幸ポイント事業」の本格導入をはじめ、すべての市民がICT化のメリットを受け取ることができる取り組みを進めてまいります。

また、本年度から農村地域を含めた市内全域で光回線の供用が始まることから、市民生活や地域産業を高める取り組みを検討してまいります。

コロナ禍で縮小した地域活動を活性化するため、自治会、小さな町内会単位から、改めて人と人とのつながりを回復し、その輪をさらに広げる地域ぐるみのコミュニティ活動を支援し、市民による協働のまちづくりを推進してまいります。

行政運営にあたっては、一人ひとりの持てる能力を最大限発揮し、チャレンジを続け、市民と共創する職員の育成に努めるとともに、効率的で横断的な事務の執行を推進してまいります。

また、弾力的かつ持続性のある健全な財政運営を行っていくため、中長期的な見通しに基づき、「歳入に見合った歳出」の維持を図ってまいります。

加えて、富良野のまちや豊かな特産品のPR及び地域振興を目的に、生まれた故郷や応援したいまちへの寄付制度である「ふるさと納税」に引き続き積極的に取り組むとともに、本市の施策に支援していただく「企業版ふるさと納税」制度を活用し、自主財源の確保に努めてまいります。

#### (4) 感じる。つなげる。自然のWA！

本市の持つ資源「自然環境」の魅力を将来に向けても維持・増進し、まちとしての求心力を高めていくため、しとやかで着実なSDGsの推進とゼロカーボンシティの目標達成に向けて、これまで市民の皆様とつくりあげてきたリサイクルを大切にしながら、再生可能エネルギーの導入促進、脱炭素ロードマップの策定を進めてまいります。

以上、市政運営に対して私の基本的な考えを述べさせていただきましたが、具体的な施策の展開につきましては、今後の市政執行方針や予算、条例などでお示しさせていただきたいと存じます。

私たちを取り巻く環境は、少子高齢化や自然災害への対応などの課題に加え、感染症や世界的な気候変動への対応も求められています。

時代の変化に対応しながら、何が大切かを常に検証し、さらに前進していく決意であります。

少子・高齢化、人口減少が進行していく中においても、持続性のある「まち」をつくるために、これまでの「協働」を基本に、市民、団体、企業、地域、行政が連携し、それぞれの意見を出し合いながら、実践的な取組の

展開から、新たなまちの魅力や地域の価値を共につくりあげる「新しい公共」の考えを取り入れ、「未来が見える共創のまちづくり」を進めてまいります。

市民が「自分たちのまちは、自分たちで創り、育てる」という意識を持って誰もがまちづくりの担い手として関係を深めながら、「共」に新しい時代に「挑戦」「創造」する、「市民が主体のまちづくり」を進めてまいります。

市議会議員の皆様、並びに市民の皆様の温かいご理解とご協力を心からお願い申し上げます、私の所信表明といたします。



